

## 関西圏地盤情報データベース研究利用報告書

<b>研究課題</b>	京都市伏見区域の現場計測による地下水性状の把握と3次元浸透流解析		
<b>研究者</b>	(所属と氏名) 楠見 晴重、関西大学環境都市工学部・教授		
<b>研究期間</b>	2010年 10月	～	2011年 9月
	<b>報告日</b>	2011年	10月 日
<b>研究目的：</b>			
<p>本研究は、京都市伏見区域における地下水流動挙動の解明を目的として、現場計測ならびに数値解析による検討を行ったものである。今後の地下水環境保全のためのアセスメント手段として有効である。</p>			
<b>研究内容と成果：</b>			
<p>研究対象地域の伏見では、酒造りにとっての地下水の重要性が早くから認識され、保存の努力が続けられてきた。伏見の丘陵地に降った雨水は、そのほとんどが伏流水となる。この豊富な伏流水が、伏見の酒造りを支えてきた。そこで、対象地域における地下水を管理する取り組みが必要とされる。</p> <p>本研究の構成は、以下のようになっている。</p> <p>第1章では、本研究の対象地域の位置を示し、研究の目的および内容について述べている。</p> <p>第2章では、本研究の対象地域である京都盆地の地質構造、解析地層モデルの概要、そして、解析範囲について述べている。</p> <p>第3章では、解析における諸条件についてまとめ、作成した解析地層モデルを示す。そして、作成したモデルを活用して求めた地下水流動挙動を示す。</p> <p>第4章では、以上の研究から、本研究の重要性をまとめた。また、今度の研究について述べている。</p>			
<b>公開資料（論文等）：</b> Establishing a 3D model of the groundwater Advection and Diffusion at Fushimi-ward in Kyoto			

※貸出期間終了後、研究利用報告書（本様式）と研究成果（論文等）を提出してください。

※研究利用報告書は、K G - N E TのHPに掲載いたします。